令和5年度「学校運営協議会」

年度末 取り組み発表

令和6年2月26日(月)

芸西村立 芸西小学校校長 廣瀬 潤

本日の説明の流れ

1. 本校の教育方針・重点項目(パワーポイントで。)

2. 学校関係者評価一覧表での 重点項目等の再確認(紙上で簡単に。)

3. 各項目毎の1年間の取り組みの紹介

(パワーポイントで、写真とともに。)

小学校の取組

【学校教育目標】 一人一人が元気でかがやく学校

~心豊かにたくましく 学びを楽しむ児童の育成~

【研究主題】:「探究的な活動の創造 ~目的意識の共有~」

【教育理念】

- 〇子どもが学ぶことを楽しみこの学校で学んで良かったと思う学校
- 〇保護者が、我が子をこの学校に通わせて良かったと信頼する学校
- 〇教職員がこの学校に勤めて良かったとやりがいと誇りを持てる学校
- 〇地域が、この学校の子どもの育ちに協力や支援をして良かったと思う学校

各項目の年度末検証

(ここで、一度、紙資料をご覧ください。)

令和5年度 芸西小学校 学校関係者評価表

学校教育目標: 「一人一人が元気でかがやく学校 ~心豊かにたくましく 学びを楽しむ児童の育成~」 3学期 学校運営協議会 年度末評価用 : 「探究的な活動の創造 ~目的意識の共有~ 」A: ※足できる B: おおむね満足できる 末達成状況・改善方策 評価 目標|経 評価表示方法…<mark>達成</mark> 未達成 ガイドブックを用いた授業づくり ic」授業での重点項目実施率:現状】 目標指標に対して、 1の調査も「算数:基本」に大きな弱さ。 な学習活動の宝飾 *年の授業の掲示、研究通信の紹介等により 【学力向上】 意欲 氏調査で、「主体的に学習活動に関わるこ ①よくできている項目は の肯定的評価:<mark>89.6%</mark> の板書等の記録紹介。研究便り発行。 3介実施済。研究通信 210 号。 器活用・②校内研修の月1回実施、校外研 びかけ。→<mark>よく実施・参加</mark>している。 上の図書館利用:現状 全国 13.4% 「本が好き」回答:80 【心の教育】 回以上の校内研修。 ②改善を要する項目には 以上の校内支援会の実施。 とも、引き続き<mark>実施済</mark>。 こ入れない児童の居場所づくりは継続。 ①生活調査から「早寝早起き」: 白文字に紺色マーカー ②生》 周査「朝食未摂取」:4.9% 「朝食をとることは大切である」:94.5 ③おいい給食の提供と給食指導の充実。 【健康教 …と表現しております。 ④家庭向け通信のは、月1回程度発 食育・体力 ①体育授業での副読本の指導例や児童の振り返り欄 DE 群の児童の割合:中間時 17.4%(達成 以下(3年後の指標) 1)防災教育の充実 (1)防災教育の充実 (1)児童が自分で自分の (1)防災教育の充実 災害から身を守る

命を守ることができる安

①「高知県安全教育プログラム」に基づく防災 ①②1年間で、防災学習を5時間以上、避難訓 ①②避難訓練:現状、4回実施済 ①②美推訓練:5回実施が 全教育を実施する。 を中心にした授業を実施する。 練を5回以上実施。(校内避難訓練含む。) ①②省略。 ②校内避難訓練だけでなく校外の避難場所への ①②学校評価アンケート「避難の仕方について 2)安全意識の向上(交通安全・防犯・ SNS 等) ①② 一性難の仕方について」肯定回答: 98.8% 避難の仕方を学ぶ。事前事後指導の充実。 省定回答:80%以上 ①交通安全教室・登下校等の防犯指導の実施: 業の向上(交通安全・防犯・ SNS 等) 安全教育・安全 (2)安全指導、及び安全 (2)防犯・交通事故やインターネット犯罪等への意 安全意識の向上(交通安全・防犯・ SNS 等) 安全教室・登下校等の防犯指導の実施 管理が充実した 管理が定期的・組織的に 識の向上 ①交通安全教室・登下校等の防犯指導の実施。 ②校内安全点検を学期に1回は実施。 行われている。 ①交通安全教室・登下校等の防犯指導実施。 ②校内安全点検を学期に1回は実施。 →1学期末、並びに都度実施済。 5全点検を学期に1回は実施。 ②校内安全点検の励行 月末、並びに都度<mark>実施済</mark> 【保幼小中】保幼小の円滑な (1) 就学前機関との円滑 (1) 合同学習会・園内研修等への相互参加 (2)公開授業参加・文書の相互配布、行事への参加 ①②教員(関児・児童生徒)による活動・行事や ①②教員(関児・児童生徒)による活動・行事や研修 #校問の相互交流。→中学校:合同研修: (2)生活科・総合的な学 等による連携の推進 での相互交流。研究通信・家庭向け文書の相互配 研修での相互交流。研究通信・家庭向け文書 小中連携の推進 習の時間を基調としつ (3)地域と関わった学習活動の計画。行事や活動で の相互配布。 布。→中学校との合同研修・相互交流はともに実 つ、芸西中学校や地域と の相互交流 ③地域の人材バンクや特産品等を生かした小中 施済。幼稚園とは、2学期末以降実施予定。 9年間の系統的な指導計画の編成周知。 ③地域の人材バンクや特産品等を生かした小中9年 地域連携】 地域に学ぶ 連携した学習活動を実践 間の系統的な指導計画の編成周知。→実施済 【業務改善】(働き方改革) 教職員がこの学校に勤めて良かったとやりがいと誇りを持てる学校:(1)チーム学校・(2)ミドルリーダー育成・(3)校務分学業務の見直し・(4)ICTデジタル化推進・(5)時間

前回 お話した重点目標

- 1.【学習:学力向上】
 - ①Basicガイドブック、②探究的な学習(意欲的に学ぶ)、③ICT活用、④読書活動
- 2. 【心:心の教育】
 - ①道徳、②自己有用感、③居心地の良い学校づくり
- 3.【体:健康教育】
 - ①生活習慣、②食育、③体力向上
- 4.【安全:安全対策•危機管理】
 - ①防災教育、②安全管理
- 5. 【つながり:他との連携】
 - ①保幼小中、②保護者・地域・他機関(行政・福祉)

1.【学力向上】

- (1) Basicガイドブックを用いた授業づくり
 - ■「Basic」授業での重点項目実施率:現状100%

- •「家庭学習をしている」
 - →低73.6%、中84.7%、高70.9%、目標未達。
- ・高知県学力調査・ベネッセ学力調査(12月実施)等の学力調査で全国平均を目指す。(国語・算数共に-5p以内)
 - →ベネッセ(1~3年)は、国算共、目標値達成。
 - →高知県版4・5年生は、国語は2%以内で達成。
 - ●何れの調査も「算数:基本」に大きな弱さ。

- (2) 探究的な学習活動の実施
 - ・他学年の授業の掲示、研究通信の紹介等により、 他の学年の取り組みは理解できている。
 - •質問紙調査で、「主体的に学習活動に関わること」への 肯定的評価:89.6%
 - ・授業の板書等の記録紹介。研究便り発行。
 - →板書紹介実施済。研究通信210号。
 - ●「中山間」事業での「生活科・総合的な学習の時間」の取り組みにより、児童は意欲的・主体的に、「目的を意識しながら、考え、調べ、書き、まとめ、表現する」ことが、できていた一年間であった。特に、芸西村の「村の人・施設・ことがら」に大変関心を持つことができた。

- (3) <u>ICT機器</u>の導入
 - •ICT機器活用•校内研修の月1回実施、校外研修の呼びかけ。
 - →よく機器の授業利用・ミニ研修実施・校外研修参加している。

(4)<u>読書活動</u>の充実

- 読み聞かせは、実施できた。
- ・週1回以上の図書館利用:現状
 - →本校41.4%、全国13.4% 「本が好き」回答:80%
 - →図書賞出目標冊数到達児童は、47.8%
 - ●ICT機器やタブレットで読める電子図書の活用も考慮する必要性。

学力面での課題

- ①学力調査から、国語は向上している。 算数の計算・図形等の基本部分が弱い。(応用問題以上に。)
 - 算数は、目標とする数値から10ポイント以上離されていることも。
- ②家庭学習の取り組みが弱い。

- ③図書貸出冊数。
- ④古典的授業活動も大切に。
 - •手で文字を書く活動
 - •45分の授業中に練習問題等を行う時間の確保。

学力面での成果

- ①授業スタイルは、ほぼ統一されている。
- ②探究的な学習、学習への意欲は定着。
- ③ICT機器の取り扱いも習熟。
- ④国語科の「段落構成」を意識した作文力は向上。 →書く活動では、質量とも。

【トヨタ:プログラミング教室】

・大勢の方が、講師で来校。





【トヨタ:プログラミング教室】

・学校ではなかなか準備しきれないキット。





【学習発表会】

·探究的な学習の発表の場として

•1年生



•2年生



【学習発表会】

・保護者・地域との連携の場として

•3年生



•4年生



【選書会】

・読書に親しむ。・自己決定。

・図書館に購入して本を児童が選びます。



・手に持った「短冊」が投票用紙です。



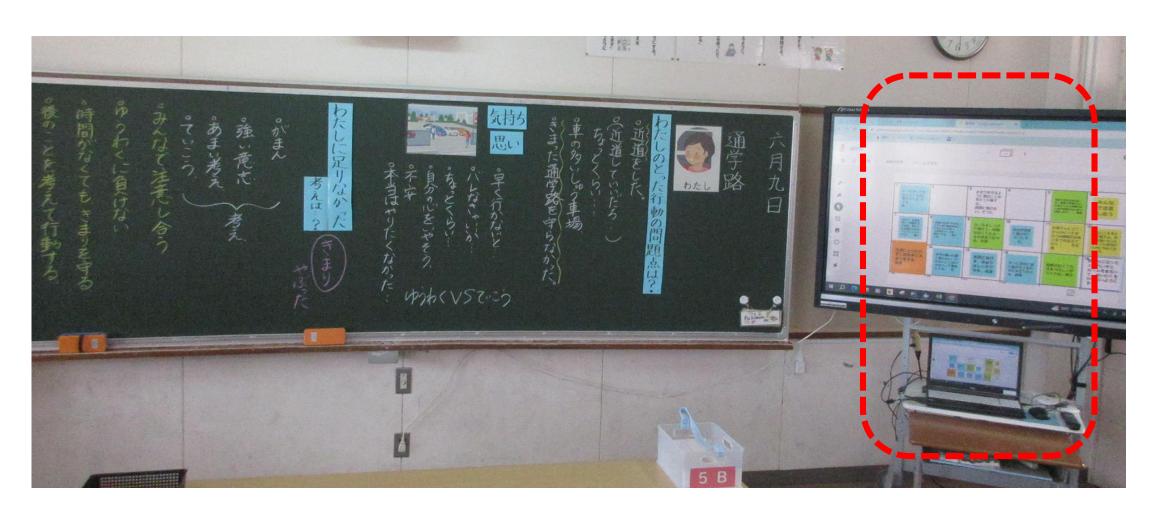
2. 【心の教育】

- (1) 道徳教育の充実
 - ・道徳授業の実施。
 - ・道徳アンケート「自分にはよいところがある」肯定的回答: 81.8%
- (2) 自己有用感•他者理解•自尊感情
 - ・Q-Uアンケート「学校生活満足群」: 62.4% (全国平均よりかなり良好な値)
 - 特別活動、授業や学級活動で児童が主体となる活動の設定。
- (3) 児童の状態像・二一ズの把握
 - •年間1回以上の校内研修。
 - •月1回以上の校内支援会の実施。→3学期も実施済。
 - →長期欠席児童:4人 (うち新規児童:2名。)
 - →現在引き続き欠席している児童は、1名にまで改善。
- ●長期欠席・教室で学びにくい児童、教室に入れない児童の居場所づくりは、継続。

16

【道徳教育の充実】

- 「振り返り」も使っています。



【学校案内·学校探検】

・学校の中を、2年生が上級生として案内。(自尊感情・有用感)

・2年生は、1年生に「案内」する練習。



・当日は、1年生を「案内」



【集会】

・児童の主体的活動・仲間づくり・安心感。

• 体育委員会



•1年生を迎える会



【児童の自己有用感・主体性・居心地の良さ】

・和文化クラブの作品より →





・自己有用感・いごこちの良い学校づくり

今年度のクラブの立ち上げに当たっては、 事前に実施クラブを決めてそれを児童に選 ばせるのではなく

1

児童が「仲間を集めて、実施したいクラブを宣伝・立ち上げる」という極めて主体性 を尊重する方法を採用。

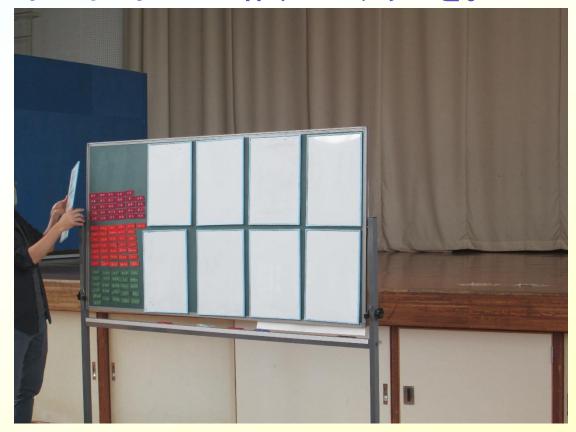
【クラブづくり説明会①】

•自己有用感•主体性•責任感等

・最初は、先生から概要説明。



ホワイトボードに作りたいクラブを。



【クラブづくり説明会②】

•自己有用感•主体性•責任感等

・クラブ成立の条件も大変素晴らしい!



- 興味のあるクラブにネームプレートを。



【クラブづくり説明会③一定期間、昇降口で自由に変更した後】

•自己有用感•主体性•責任感•自己決定•調整力等

・成立しつつあるクラブの特色をみて、



・選択したクラブに記名。



【大縄跳び集会】

- ・児童の自己有用感を高める。
- •もちろん、体力や仲間作りも。
- ・練習期間があって、いよいよ本番。





【地域の保健活動授業】

•たくさんの方が、自分たちを見守ってくれている。

・健康福祉課:保健師の方のお話



・地域の保健活動も学びつつ。



【命の学習】

・命の大切さ・自尊感情・家族の大切さ。

・SSWの方が、説明。(保健師の方も。)



- 妊婦体験のベルトをつけてみて。



3.【健康教育】

- (1) 基本的な生活習慣に関わる指導
 - ●生活調査から「早寝早起き」: 早寝64%、早起69%
 - •生活調查「朝食未摂取」:4.9%

「朝食をとることは大切である」:94.5%

- ・おいしい給食提供と給食指導の充実。
 - →生活・総合学習や家庭科と関連付けた指導実施済。
- ・家庭向け通信のは、月1回程度発行済。
- (2) 体力向上に関わる指導
 - •体育授業での副読本の「指導例や児童の振り返り欄」等の活用:100%
 - ・体力テスト総合評価DE群の(苦手な)児童の割合:11.4%
 - ・普段の体育の授業が良い。

【食育】

・おいしい給食提供と給食指導の充実。 「朝食をとることは大切である」:94.5%

・給食試食会(1年生) 別日に6年生も。



・お菓子の学習(3年生)栄養教諭の授業。



【体力テスト】

- ・体力向上と正しい測定を身につける場として
- 上級生が下級生を指導する場として

・上体起こし



・立ち幅跳び



【ふだんの体育の授業】

DE群の(苦手な)児童の割合:11.4%

- 「動き・活動」のポイントを説明し、



・児童は、気づき・振り返りを記述。(日陰)



4.【安全対策•危機管理】

- (1) <u>防災教育</u>の充実
 - •避難訓練:5回実施済。
 - →5回目は、6年生企画の「防災イベント」開催。
 - ■「避難の仕方について」肯定回答:98.8%

- (2) <u>安全意識</u>の向上(交通安全・防犯・SNS等)
 - •交通安全教室・登下校等の防犯指導の実施:
 - →実施済。
 - •校内安全点検を学期に1回は実施。
 - →学期末、並びに都度実施済。

【安全対策·危機管理】

·嘔吐物処理演習

※O-157から始まり、ノロウイルスの広がりにより、 教員個々人の対応が必要となってきたもの。





【避難訓練:グラウンドまで実際に避難】

•避難訓練:5回実施

・ビニルハウスを通り、



・ヘリポートで小休止、この後、グラウンドへ。



【避難訓練:屋上まで実際に避難】

避難訓練:屋上。「本番のつもりで避難」:93.8%

「避難の仕方が分かる」: 98.8%



3学期

・5回目として、6年生が取り組んだ防災 学習の発表を「プレ防災イベント」として 取り組む。2月22日(金)

→防災学習・体験を行いました。

【防災イベント:地域保護者の方へ①】

・本番までに下級生に「プレ防災イベント」として実施。

•全体説明場所



・揺れ体験



【防災イベント:地域保護者の方へ②】

- ・総合的な学習を生かした「探究的な学習」の場として
- ・保護者・地域・他機関との連携の場として

ゲループごとに説明



•会場全景



- 5. 【連携】 校種間交流・保護者や地域(行政)との連携
- (1) 学校間の相互交流。
 - 9年間の指導計画作成した上で、
 - →中学校:合同研修等年6回、担当者連絡会月1回、相互授業も実施済。
 - →幼稚園:1日体験入学等交流、園内研修等参加。
 - →特別支援学校:居住地校交流。

(2) <u>外部との連携</u>

- •「生活科・総合的な学習の時間」等での様々な地域の方との連携実施。
- ·学習発表会·防災イベント等での外部への発表。
- 人材バンク運用開始。「すぐーる」の活用。広報掲載。
- ホームページでのコミュニティスクール関連紹介開始。

https://www.kochinet.ed.jp (高知県内の全小中義務教育学校のホームページリンク集)

https://www.kochinet.ed.jp/geisei-e/(芸西小学校ホームページのトップページ)地域連携関係が緑文字記載

【地域との連携。他の校園所との連携】

・5年生田植え(青年農業士の方々)



田植えを応援する保育所の子どもたちも。

※他の学校や園所の子どもの写った交流写真は、遠慮いたします。

【地域の方と学ぶ】

・芸西村を知る。そこから学習を広げる。

•2年生校区探検(永正寺 様)



・3年生総合(トラップづくり)



【芸西中教員による出前授業】 ・小中連携として。

・理科(化学)の授業



・電子黒板・動画・ダイラタンシー現象



【赤い羽根共同募金】

・2学期末に募金開始。1月贈呈式。



•感謝状を。



【総合:ビニルハウス見学(5年生)】

・青年農業士さんと。3年生の「働く人」でもお世話に。

•ハウスの中で。



•ハウスの外で。



次年度への課題

- ①数室で学習に参加しに《い児童への対応。
 - →授業改善、支持的風土の学級集団づくり。保護者・教職員同士の連携。
 - →SC*SSW*子ども家庭支援員*村健康福祉課、「教育支援センター」等。
- ②学力面: 算数科の向上・・・多くは、反復練習が必要だが基礎的なもの。
 - 計算 ・図形の基本性質、面積の求積
 - •単位の換算
 - 数のしくみ等⇔応用、難しいもの
 - ・概数、四捨五入、二次元表、単位量あたりの大きさ、 小数割り算、通分の必要な分数の加減算、計算のきまり 割り算の第3用法(口を使った式)

これからも、弛まずがんばります。

ご清聴ありがとうございました。